

特許協力条約



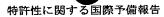
PCT

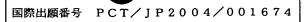
特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の書類記号 904021	今後の手続きについては	、様式PCT/	IPEA/416を参照	けること。
国際出願番号 PCT/JP2004/001674	国際出願日 (日.月.年) 16.02	2. 2004	優先日 (日.月.年) 05.	03.2003
国際特許分類(IPC) Int.Cl'CO9C	C1/64, C09D11,	02, 5/29	9, 5/38	
出願人(氏名又は名称)	東洋アルミニウム株式	·会社 		
1. この報告書は、PCT35条に基づ 法施行規則第57条 (PCT36条)		 作成された国際	予備審査報告である。	
2. この国際予備審査報告は、この表紙	を含めて全部で3		ジ からなる。	i
3. この報告には次の附属物件も添付される M属事類は全部で				
□ 補正されて、この報告の基 囲及び/又は図面の用紙(細書、請求の範
第 I 欄 4 . 及び補充欄に示 国際予備審査機関が認定し		る国際出願の開	示の範囲を超えた補正を	と含むものとこの
b 電子媒体は全部で 配列表に関する補充欄に示す ブルを含む。(実施細則第8		取り可能な形式		類、数を示す)。 長に関連するテー
4. この国際予備審査報告は、次の内容				
第IV欄 発明の単一性の	生又は産業上の利用可能性			国解 それを寛付
	状及び説明 文献	・社人は産業工学		C402.30(1)
第VII欄 国際出願に対っ	トる意見 -			
国際予備審査の請求書を受理した日	国	き予備審査報告を	を作成した日 31.05.20	0 4
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP 郵便番号100-8915)	F庁審査官(権阿 山田	最のある職員) 日 泰之	4 V 8 7 2 0
東京都千代田区霞が関三丁目 4	番3号			

電話番号 03-3581-1101 内線 3483





第I欄	報告の基礎	·
1. z o	国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか	、国際出願の官語を基礎とした。
	この報告は、 語による翻訳文を それは、次の目的で提出された翻訳文の言語であ] PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査] PCT規則12.4にいう国際公開] PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査	
	報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条 用紙は、この報告において「出願時」とし、この	を (PCT14条) の規定に基づく命令に応答するために提出され)報告に添付していない。)
X	出願時の国際出願書類、	
	明細書 第 ページ、 第 ページ*、	出願時に提出されたもの
	請求の範囲	110 CENT METER MANAGEMENT
	第 項、	A CONTRACTOR OF THE PROPERTY O
	図面 第 ページ/図、 第 ページ/図*、 第 ページ/図*、	出願時に提出されたもの
	配列表又は関連するテーブル 配列表に関する補充欄を参照すること。	
3.	補正により、下記の 書類が削除された。 明細書 第	ページ
	請求の範囲 第 図面 第 配列表(具体的に記載すること) 配列表に関連するテーブル(具体的に記載する)	
4.		こ添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超 されなかったものとして作成した。 (PCT規則70.2(c))
	明細書 第請求の範囲 第図面 第配列表(具体的に記載すること)配列表に関連するテーブル(具体的に記載する)	
* 4.	に該当する場合、その用紙に "superseded" と記	





国際出願番号 PCT/JP2004/001674

. 見解			
新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	1 – 7	
進歩性 (IS)	請求の範囲 請求の範囲	1 – 7	
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 請求の範囲 	1 – 7	

文献 2 : JP 2000-273350 A (日本ペイント株式会社) 2000.10.03/ 文献 3 : EP 305158 A1 (TOYO ALUMINIUM KABUSHIKI KAISYA) 1989.03.01/

文献1-3には、顔料の最短径/最長径の平均値について記載されていない。そして、本発明と文献1-3記載の発明の顔料を得る方法を比較すると、特に球状メディアの材質及び/又は直径の点で差異があり、本出願の明細書の実施例及び比較例をみると、この直径により得られる顔料の最短径/最長径の平均値が異なるので、やはり、文献1-3記載の顔料は本発明の顔料と相違すると認められる。